



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 25 年 9 月
3. 出張目的 「アフリカ稲作振興」プロジェクトの研究実施：B

4. 成果の概要

Zaw 村の不耕起と耕起を組み合わせた試験区で、雑草の発生相とイネの成長を調べ無除草区ではイネ科雑草が優占し、雑草の発生数は不耕起連続区に比べて耕起を加えた区でやや少なく、イネの苗立ち数は、手取り除草区で無除草区よりやや多く、イネの分けつ数は手取り除草によって顕著に増加した。

Zaw 村で、雨期前に採取して乾燥、保存した土壌に水道水を加えることで土壌水分を調節し、イネ（品種：“Sikamo”、“Sakai”）と雑草の出芽と生育を調べた。イネの出芽は 20% と 15% の条件下で良好で、処理 8 日後のイネの平均葉齢は 20% と 15% で大きかった。一方、雑草の出芽数は 20% と 30% の条件で多く、15% では抑制された。すなわち、15% の土壌水分条件下でイネを播種することで、適当な出芽を得、雑草の出芽を回避できる可能性が示唆された。草データベースの追補、修正に資するため、A3 サイズのスキャナーで約 40 種の植物の画像を得た。